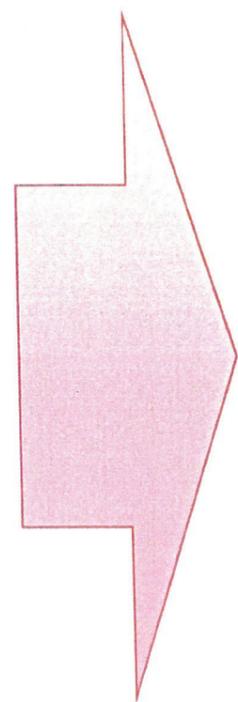


嘉麻市地域公共交通網形成計画における  
5つの方針(案)について

平成28年10月17日

嘉麻市地域公共交通会議

今後、検討すべき事項として予定している方針（案）



5つの方針（案）

方針1. 利便性の高い交通環境の構築

- 牛隈地区（元大隈駅）にバスセンターを設置する
  - ・バス待合所（ICカードのチャージ等）
  - ・バス停留所（市バス、西鉄バスのどちらの車両も停車するバス停留所）
- 各庁舎付近に交通結節点を設置
  - ・乗継拠点として待合環境の整備
  - ・複数車両が停車可能なバスレーンの整備
- 乗継しやすいダイヤを構築
  - ・市バス同士や市バスと西鉄バスとの乗継のしやすいダイヤを構築する。
- 交通空白地の解消
  - ・桂川駅便の見直し、構築

方針2. 安全性が高く、利用しやすい交通体系の実現

- 主要な幹線となり得る路線（市外への路線）は、民間による運行とする
  - ・主要な幹線（市外への路線）は、更なる安全性、利便性の向上のため、民間による運行とする
  - ・市が運行するバスは、幹線を補完する路線とする
  - ・市外への路線の便数は現状便以上（市の補助制度導入）
  - ・官民間問わず乗継等、公共交通の利便性向上となる情報提供

方針3. わかりやすく、効率的な公共交通体系の確立

- 福祉バスを廃止。市バスに統一する
  - ・効率的・効果的な運行を可能とする運行計画の策定
  - ・乗り継ぎ割引、高齢者割引の適用（市バス車両にICカードを設置）

※高齢者、障がい者の利用の条件内容の明記

方針4. 必要な公共交通サービスの確保

- 地域の特性や需要に応じた最適なサービスとして、デマンド型運行を導入する。
  - ・一定地域におけるデマンドタクシーの導入
- ※利用者が少ない区域・集落における一部区間のデマンドタクシー等の実証運行の実施

方針5. 必要な交通手段の確保及び利用促進

- 通勤、通学手段の確保（通勤、通学サポート）
  - ・現状の西鉄バス通学定期券の一部補助
  - ・新規路線を構築し、通学定期券の一部補助
  - ・近隣の高等学校への通学手段の確保
  - ・福岡市内への直行便等を含む通勤、通学手段の確保
- 地元商店等での買い物と合わせた利用促進
  - ・地元商店等での買い物した際の回数券等の交付による利用促進
- 一目で分かり、明るい市バスとして、バスにラッピングや車内広告等を行う
  - ・車内広告等による明るい雰囲気づくりと収入の確保
  - ・ラッピングバス等による、わかりやすく、明るい市バスとする
- 観光地（道の駅等）や観光名所への交通手段の確保
  - ・最寄り駅から観光地（道の駅等）や観光名所への交通手段の確保
- 八丁峠トンネル化に伴う朝倉方面との広域連携
  - ・朝倉方面への交通アクセスの検討

【問合せ先】

嘉麻市 庁舎・交通体系対策室 担当 塚本  
 電話：0948-62-5677  
 FAX：0948-62-5018